



民生委員・児童委員活動 実態調査について（中間報告）

熊本市民生委員児童委員協議会 会長 小山 登代子

皆様には、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない難しい環境のなかで、活動再開に向け with コロナを見据え、委員間または関係機関との協議を重ねている状態であるかと思えます。ご自身の健康に留意され、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、民生委員・児童委員を取り巻く状況や課題を探り、地域での活動が行いやすい環境整備を図ることを目的に「実態調査」をいたしました。ご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

現在、集計・分析中ですが、一部について中間報告をいたします。

多くの方が活動をするうえで、苦労や悩みを持っており、その負担感から担い手不足になるという意見がありました。一方で、やりがいを感じると答えた人が61.7%います。支援している人に喜ばれたときや、委員間での仲間ができたとき等うれしいことです。

明らかになった課題（プライバシー、孤独死、活動記録、ICT の活用、町内行事への関わり等々）については、行政や社協、様々な福祉関係団体との連携のもと取り組み、より良い方向を目指したいと思います。

最終報告を今年度末までに行いたいと考えています。

【実施主体】熊本市民生委員児童委員協議会

【調査対象】熊本市内すべての民生委員・児童委員

（令和3年1月1日時点の委嘱委員1,354名が対象）

【調査期間】令和3年2月から令和3年5月まで

【回答率】98.3%（調査対象委員1,354名中1,331名が回答）

※以下、実態調査集計結果一部掲載

委員自身のことについて

性別について

項 目	
1. 女性	1,050
2. 男性	281

年齢について

項 目	
1. 30歳代	2
2. 40歳代	62
3. 50歳代	153
4. 60歳代	572
5. 70歳代	540
6. 無回答	2



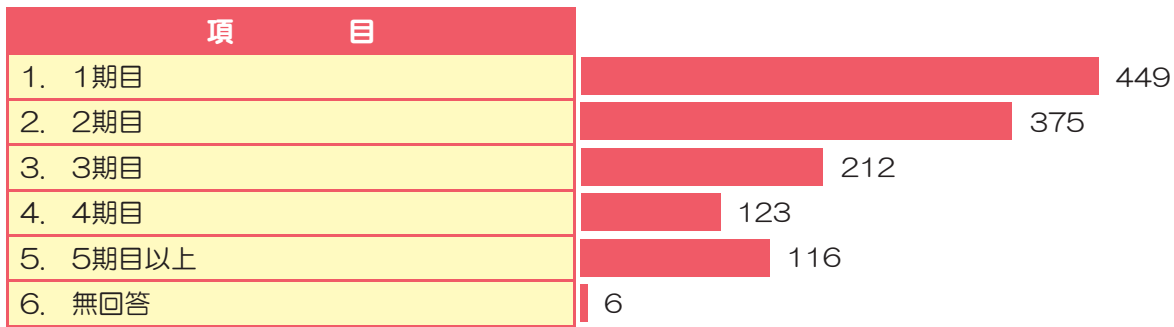
第 15 号

令和3年11月発行
発行者 熊本市民生委員
児童委員協議会
会長 小山 登代子

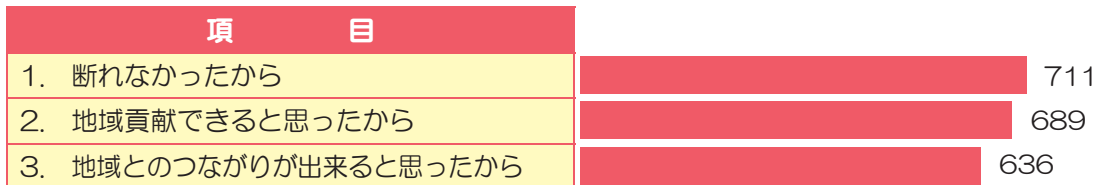
〒860-0004
熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎096-288-2748



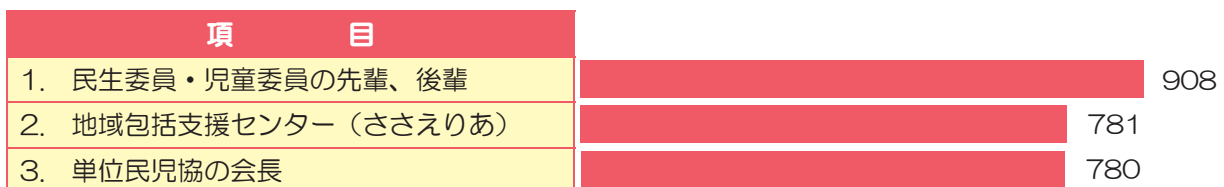
在任期間について



民生委員・児童委員を引き受けた動機について（複数回答）

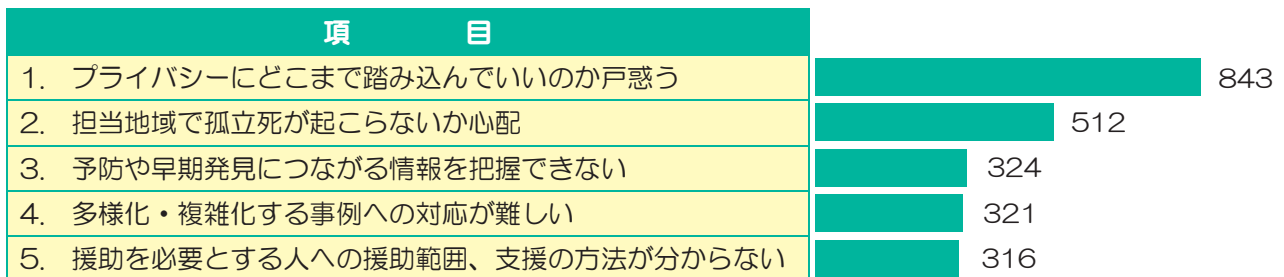


日常的に相談している相手・機関はどのような人か（複数回答）



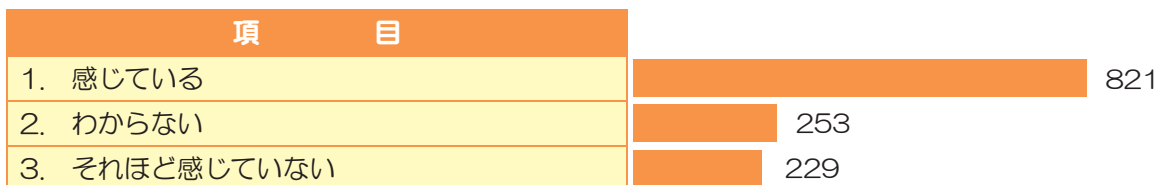
民生委員・児童委員活動の中での悩みや苦労について

民生委員・児童委員の活動の悩みや苦労はどのようなものか（複数回答）

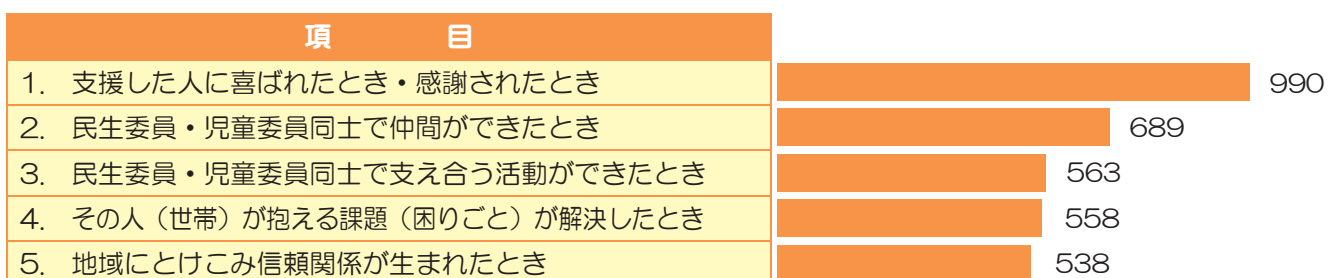


民生委員・児童委員の活動について

民生委員・児童委員の活動にやりがいを感じられるか



やりがいや達成感を感じるのはどんな時か（複数回答）





中央区会長研修

慶徳校区民児協 会長 西村 辰則

令和3年8月2日（月）午後1時半から、下通りアーケード内にある西部ガス熊本ショールームヒナタ熊本にて中央区会長研修を開催しました。

演題は「人身安全関連事案の現状について」本年4月に熊本県警内に発足した人身安全対策課が担当する事案について、中央警察署生活安全課（生活安全）第2係長・河口秀樹警部補のお話を聞きました。

人身安全対策課の担当は、ストーカー行為・ドメスティックバイオレンス（DV）、家出人・迷い子の保護、児童・高齢者・障害者虐待の防止、人身の安全を早急に確保する必要があると認められる事案等です。

8月12日付熊日記事によると、警察庁が、全国の警察が扱ったストーカーやドメスティックバイオレンス（DV）、児童虐待といった「人身安全事案」に関する情報をデータベース化し、都道府県警が共有して全国を横断的に検索できるシステムの構築を目指しているとのこと。

この背景には、初動の遅れや連携不足が人命に重大な危険を及ぼす恐れがあり、2011年の長崎ストーカー殺人事件では3県警の連携不備が、16年の東京・小金井女子大学生刺傷事件では警察署が被害女性の相談を本部専門部署に報告していなかったことが問題となりました。

民生委員・児童委員としては、認知症による徘徊、迷い子、虐待等に接した場合は、いち早く各警察署の生活安全課に連絡相談することを学びました。

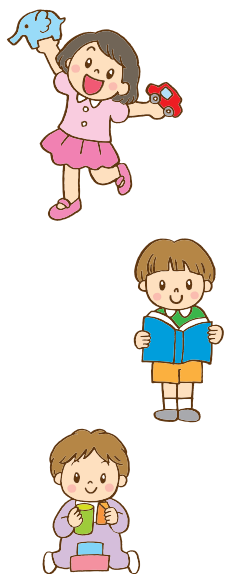


1年半ぶりの子育てサークル

健康校区民児協
会長 松瀬 美智子

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの活動が制限される中、7月14日（水）に約1年5ヶ月ぶりに子育てサークル「めだかクラブ」を開催しました。コロナ禍で以前開催していた会場が使用できなくなり、会場探しに苦労しましたが、健康小学校のご配慮で児童育成クラブをお借りすることができました。県独自のまん延防止重点措置が解除されたばかりであり、感染者が増える中止せざるを得ない状況で、積極的な案内ができず実際に参加があるのだろうか…不安な中での企画でしたが、当日は親子3組7名の参加がありました。そのうち2人のママは、コロナ禍以前、月2回開催していた時の「めだかクラブ」に、上のお子さんと定期的に参加されていた方々でした。懐かしい顔ぶれに会話もはずみ、コロナ禍の出産と育児がいかに孤独だったのか切実に感じました。

今後もすぐには以前の生活様式には戻れないと思いますが、何らかの形で校区の子育て支援ができれば…と強く思いました。



※コロナ禍前のにぎやかな「めだかクラブ」です



20年続けてきたあいさつ運動

～コロナ禍の中で～

月出校区民児協 会長 岡村 テルミ

月出校区は、8月30日（月）始業式の日「あいさつ運動」を実施しました。通常は集合して、一列で挨拶するところですが、まん延防止等重点措置中で緊張感が強いいため、学校・PTAと連絡を取り、私達は自宅に近い通学路で実施することになりました。



この活動は、月出・長嶺校区時代から約20年続けている活動です。私達は挨拶しながら注意していることがあります。「＊元気に挨拶が返ってくるか ＊顔色は良いか ＊清潔な服装か ＊持ち物・靴は汚れていないか」などです。気づいた時はすぐ学校にお伝えします。校長先生は毎回参加されるので、学校の様子を聞いたり、民児協に要望を出してもらったりしています。初めての緊急事態宣言が発令された時、消毒用タオルが不足しているというお話を聞き、民児協で相談してタオルを500枚程準備し寄付いたしました。あいさつ運動は、毎月一度実施しておりますが、新入生だった子が卒業するまでの成長を見ることが出来嬉しく思います。

今年度からは、自治協からの提案で「月出に関わる人に挨拶しましょう」ということで、新たな目標に取り組み始めました。

春日校区歩く子ども110番

「今日も子どもたちと歩いていきます」

春日校区民児協
会長 中島 花江

近年、春日校区は、熊本駅ビルの開業や熊本駅周辺再開発により街化する一方、不審者事案や通学路の危険箇所が増加し、子どもを取り巻く環境はより厳しくなっています。また、他校区に比べ介護認定を受けている高齢者の割合も多く、コロナ禍による生活リズムの変化が及ぼす健康への被害も、大変懸念されています。

そこで、「春日校区歩く子ども110番」は、**「高齢者の力を校区の安全・安心へ」**を理念に2017年にスタートしました。（現在、メンバー74名中63名が65歳以上）

合言葉は「無理せず、出来るしこ」。小学1年生の下校時間に合わせて、腕章を身に付け活動しています。毎日学校へ行くことで、先生方や上学年の子どもたちとも顔見知りになり、気軽にお話ができる関係になりました。私たちが、この活動を始めた時から心掛けていた目標は、交通ルールを守りながら皆で楽しく安全に帰ることです。

そして、可能な限り子どもが一人にならないように、



自宅の前まで同行することもあります。

この活動を通して、参加メンバーがやりがい・生き甲斐を得るとともに、自らの健康維持にも繋がればと考えています。

また、コロナ禍で中止されている「赤ちゃん訪問」の新しい活動方法を考えていた春日校区民児協では、主任児童委員を中心に独自の『五分間玄関前赤ちゃん訪問』を始めています。しかし、実際には赤ちゃんの誕生情報を集めるのが難しく、試行錯誤の毎日です。「歩く子ども110番」活動中の出会いから、親子への声かけに発展することもあり、その時私たちにとって2つの活動が繋がり、実を結び嬉しい瞬間になります。

子どもたちの中には、学校・家庭・地域で見せる顔が全く異なる子もいて戸惑う時もあります。毎日のように顔を合わせていると、それぞれの場所ですりすまひに頑張っているのがよく分かるようになります。身近な大人として、子どもたちとの会話や様子から、子どもたちの思いをしっかりと受け止め、支えていければと思います。

最後に、子どもの成長には目を見張るものがあります。4月になり成長した子どもたちが、次は自ら下級生を連れて登下校してくれる姿を見ることが、我々の喜びです。色々な意味を持った「春日校区歩く子ども110番」活動ですが、我々の最終目標は「高齢者が子どもを見守り、子どもたちが高齢者を見守る 順繰り順繰りお互い様で！」そんな優しい目を持つ春日校区です。

コロナ禍のなかで「高齢者見守り事例」

城西校区民児協 会長 伊牟田 久美子

城西校区は、高齢化率33%、町内は30%と市平均を大幅に上回っています。高齢者特有の心身の衰えが目立つ人も少なくありません。そのような、城西校区での地域の見守りの事例を紹介します。

ある70歳の女性が老人会に参加した折、他人の上着や靴を間違えて身に付けて帰られる時があり、皆で気にかけていました。しばらくして徘徊されるようになり、家を出て数日後にやつと発見されるケースが数回あったため、デイサービスを週6日に変更されました。ご家族は、仕事の都合で日曜日の休みが難しく心配していましたが、ちょうど老人会で、長引くコロナ禍のなか自粛による体力等の衰えを危惧し、感染対策をした上で日曜日にランドゴルフをすることになり、彼女も誘うようになりました。とても喜んで参加され、楽しんでおられます。たまにボールが無いと騒がれますが、（何てことないポケットの中です）笑いを誘ってくれます。本当に憎めない人です。午前中の心地よい疲れで徘徊がなくなることを期待しています。

また、プレーしないで応援に来る方もおられ、和気あいあいとした雰囲気がとても素晴らしいと思っています。ある人から「私が認知症になっても誘ってくれる？」と言われ、私は「勿論ですよ！私が先に病気になるかも。その時はよろしくお願いしますね。」と伝えています。

すべての地域において、お互い様の気持ちで個人を大切にしながら、見守り体制がしっかりと確立した環境で、誰もが安心して暮らせるようになることを切に願っています。



知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!

感染拡大

— COVID-19 —

御幸校区民生委員・児童委員協議会 コロナ禍での活動紹介

御幸校区民児協 会長 関根 義臣

御幸校区の 民生・児童委員に聞いてみました

コロナ禍の見守りで 工夫していること

- * まずは自分の健康管理
- * 訪問時には必ずマスク着用
- * 訪問は玄関先で短時間に
- * 表情や雰囲気でも体調の把握
- * 電話での安否確認
- * 留守宅にはメッセージを置く
- * 町内見守りウォーキング
- * 言葉で不安を与えないように

コロナ禍で新たに 始めたこと

- * 町内の子どもたちの顔を覚える
- * 若い世帯との交流を始めた
- * 老人会に入会した
- * 外食を控え手作りを心がける
- * 自分らしい終活を始めた
- * 日めくりフレイル体操

毎日楽しく過ごす ために工夫している こと

- * 部屋の模様替え
- * ラジオ体操・柔軟体操
- * 楽しく献立を考える
- * くつろぐ時間をとる
- * フレイル予防の活用
- * 友だちと電話で話す
- * 家庭菜園を楽しむ
- * 懐かしい歌を歌う
- * 毎日の出来事に感謝
- * 季節の花を楽しむ
- * ミニミニドライブ

主任児童委員より ひとこと

子育て支援の「みるきくらぶ」では幸田児童館や子育て支援センターを見学し、いつでも開催できるように準備をしています。



6月度 アンガーマネジメント 研修会

一般社団法人
日本アンガーマネジメント協会
ファシリテーター 吉田 美千代

6月度の民生委員定例会において、アンガーマネジメント（怒りの感情コントロール）研修を実施しました。
怒りの感情で後悔することのないように、仕組みや対処法を学びました。参加者からは…

- ・ これからの生活に活かして行きたい。
- ・ 自分の心の中の「こうあるべき」定義次第で怒りの感情になるのだと知ることができました。



研修会風景
などの感想が
寄せられました。

コロナ禍での 民生委員研修会の紹介

御幸校区民児協

毎月の定例会では関係各所の講師を招き
研修会を開催しております。

研修会のご紹介

- 11月 赤ちゃん訪問や虐待について 保健子ども課
- 12月 障害者福祉サービスについて カサ・チコ
- 1月 活動報告の書き方について 担当：関根会長
- 2月 定例会時短開催のため定例研修会は実施せず
- 3月 フレイル体操解説 担当：ささえりあ幸田
- 4月 生活保護について 研修担当：南区保護課
- 5月 定例会中止（新型コロナウイルス感染拡大防止対応）
- 6月 アンガーマネジメント研修 民児協吉田委員

編集後記

コロナ禍で多くの活動が制限されています。御幸校区では新任の民生児童委員が多く、外部への訪問研修を増やす予定でしたが、それらが実施できないため定例会時での研修会を毎回行っております。 研修広報委員会 木山・武元・吉田・水間

龍田地区6校区(楠・武蔵・榎木・弓削・龍田・龍田西)

合同新任委員研修開催

龍田・龍田西校区民児協 会長 宮川 照幸

コロナ禍の中、龍田公民館ホール(90名定員)にて感染予防を徹底し、長時間の接触を防ぐため、下記のような3日間の日程に分けて研修を行いました。

参加者 新任委員21名・単位民児協会長5名・ささえりあ武蔵塚・市社協北区事務所

【研修内容】

第1日目(令和3年3月16日 火曜日)

- ① 民生委員・児童委員PR動画(2本 10分)
- ② 民生委員・児童委員訪問マニュアル(楠校区民児協会長)
- ③ 相談・支援活動のヒント集(龍田・龍田西校区民児協会長)
- ④ 部外研修「認知症について」(ささえりあ武蔵塚)

第2日目(令和3年3月30日 火曜日)

- ① 訪問活動・相談活動の基本(相談技法ビデオ32分)
- ② 活動報告書の記入方法について(武蔵校区民児協会長)
- ③ 情報収集について(榎木校区民児協会長)
- ④ 部外研修「介護保険制度について」(ささえりあ武蔵塚)

第3日目(令和3年4月20日 火曜日)

- ① 活動保険について(武蔵校区民児協会長)
- ② 福祉票の活用について(楠校区民児協会長)
- ③ 証明事務について(弓削校区民児協会長)
- ④ 部外研修「社会福祉協議会とは」「生活福祉資金貸付事業について」(市社協北区事務所)



【参加者の感想】

- ・「研修に対するアンケート」より
- ・地域のつなぎ役として活動することの意義を理解した
- ・個人情報取り扱い方法が理解できた
- ・要支援者との信頼関係を築くことの大切さを学んだ
- ・部外研修の時間が短かった
- ・研修を参考として実際の活動で経験を積むことが大事だと感じた
- ・活動記録の記入方法の研修時間が短かった
- ・証明事務の重要性がわかった
- ・生活福祉資金貸付制度の内容がわかった
- ・各項目についてももう少し詳しく知りたかった
- ・活動保険があるので安心して活動できると感じた

子育てネットワーク「すいれん」の活動報告

西里校区民児協 主任児童委員 境 真紀

西里校区には、子育てネットワーク「すいれん」という団体があります。この名前の由来は、睡蓮の花を咲かせるためには、水面下の根を四方にしっかりと張らないといけないところから、①地域住民 ②園・学校 ③行政 ④企業からの支援をもとに子育ての見守りを行っていくということです。令和2年度は、コロナ禍により活動がかなり制限されましたが、対策をしっかりと取り西里の恵まれた環境の中、サークル「ぼちぼち」を二回開催することができました。

秋にはパワースポットである寂心公園の樹齢800年のクスノキの下でミニ運動会を、冬にはヨガマットを使い産褥体操も兼ねた親子ヨガを行いました。募集方法は、支援センターの先生が可愛らしいチラシでお誘いされたり、担当保健師の方が熊本市のLINEに載せてくれたりしています。人数制限・完全予約制のため、お断りすることもあるのが残念です。

令和3年度もまだスムーズには活動できませんが、サークル「ぼちぼち」に参加することにより、子育てを少しでも楽しんでいただけたらと思います。



ミニ運動会



親子ヨガ



主任児童委員部会からの報告

主任児童委員部会 副会長 宮澤 矢良 (天明地区民児協)

ブロック長による Zoom 研修



令和3年7月10日(土)、各区ブロック長によるZoom研修会が行われました。主任児童委員部会では、コロナ禍の中でZoomによる会議の必要性をふまえ、毎月の運営会において会議後の時間を利用して、津地会長のご指導のもとZoomの使い方研修会を行ってきました。

初めは、慣れない操作に戸惑うことが多く、全員揃うのに時間がかかっていましたが、3回目となる今回は、導入から実際にビデオ会議を実践するところまでを行いました。毎回、短く限られた時間の中での研修ということもあって、一歩ずつではありますが、ブロック長の皆さんも徐々に慣れてきている様子が見られました。更に今後の運営会でも、研修会を続けていきたいと思っています。

今後は、委員全員を対象にZoomの使い方研修会を予定しており、主任児童委員部会でも時代のニーズに合った活動や運営ができるように研鑽を積んでいきたいと考えています。

川尻校区子育てサークル「ひよこクラブ」子育て講演会

これからの各校区主任児童委員それぞれが工夫を凝らし、少しでも子育て中の親子のお手伝いができるよう活動していきたいと思ひます。

この講演会では、7男3女のお子さんをお持ちで笑顔がとて素敵な方です。10人のお子さんの子育て中に起きたさまざまなエピソードや幼い頃からの夢が叶った話など、面白くて客席から何度も笑いが起きていました。子育て中のお母さんたちにとっては、参考になったり、子育て中の不安な気持ちがちよつと楽になったり、ほんのひととき楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。

講師の岸信子さんは、7男3女のお子さんをお持ちで笑顔がとて素敵な方です。10人のお子さんの子育て中に起きたさまざまなエピソードや幼い頃からの夢が叶った話など、面白くて客席から何度も笑いが起きていました。子育て中のお母さんたちにとっては、参考になったり、子育て中の不安な気持ちがちよつと楽になったり、ほんのひととき楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。

今回は、講師にエッセイストの岸信子さんをお迎えし、サークルに参加されている親子の皆さんをはじめ、地域の方や民生委員・児童委員の皆さんが講演会を楽しまれました。



編集後記

令和3年度の「くまもと市民児協だより」について広報委員会で検討した結果、「身近に感じ、委員に役立つ広報誌」を目指し、白黒印刷からカラーへ、紙面4面から8面へ増版し、発行回数は年1回へ、紙面内容は事例紹介中心にリニューアル致しました。

コロナ禍の中での事例紹介という事で、担当された方には大変ご苦勞を掛けたくと思います。ご協力ありがとうございました。また、編集過程の中でやむなく変更された記事もあり、大変申し訳なく思っております。次回から文字数の提示を考慮してまいります。加えて忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

広報委員長 稲田 憲生

「個人情報管理は慎重に!!」

民生委員法には守秘義務が規定されています。保有する情報には十分気を付けましょう!!